

各位



2021年2月10日

会社名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
代表者名 取締役会長兼社長 柴戸 隆成
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
(コード番号8354東証第一部、福証)
問合せ先 経営企画部長 藤井 雅博
(TEL092-723-2502)

2021年3月期 第3四半期末自己資本の構成に関する開示事項について

2014年金融庁告示第7号に基づき、2021年3月期 第3四半期末(2020年12月末)の自己資本の構成について、別添のとおりお知らせいたします。

本件に関するご照会先

ふくおかフィナンシャルグループ リスク統括部 電話092-723-2535

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【FFG連結】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|--|-----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 798,080 | 788,598 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 266,258 | 266,258 |
| うち、利益剰余金の額 | 534,273 | 532,867 |
| うち、自己株式の額(△) | 2,451 | 2,448 |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 8,079 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - |
| コア資本に算入されるその他の包括利益累計額 | △9,835 | △9,234 |
| うち、為替換算調整勘定 | - | - |
| うち、退職給付に係るものの額 | △9,835 | △9,234 |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - |
| コア資本に係る調整後非支配株主持分の額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 44,059 | 42,510 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 284 | 273 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | 43,774 | 42,237 |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 10,000 | 10,000 |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 13,402 | 13,402 |
| 非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 855,706 | 845,276 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 12,034 | 13,295 |
| うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額 | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 12,034 | 13,295 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | 23 | 20 |
| 適格引当金不足額 | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【FFG連結】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|---------------------------------------|-----------|-----------|
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - |
| 退職給付に係る資産の額 | 4,380 | 6,273 |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | 102 | 100 |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - |
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 16,539 | 19,690 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 839,166 | 825,585 |
| リスク・アセット等 (3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 7,387,429 | 7,117,867 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | △25,359 | △32,010 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | 0 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | △25,359 | △32,010 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 436,367 | 436,367 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 7,823,796 | 7,554,234 |
| 連結自己資本比率 | | |
| 連結自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 10.72 % | 10.92 % |

- (注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。
2. 信用リスク・アセットは先進的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は基礎的手法により算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【福岡銀行連結】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|--|-----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 585,122 | 571,246 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 142,917 | 142,917 |
| うち、利益剰余金の額 | 442,205 | 446,458 |
| うち、自己株式の額(△) | - | - |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 18,128 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - |
| コア資本に算入されるその他の包括利益累計額 | △5,594 | △5,739 |
| うち、為替換算調整勘定 | - | - |
| うち、退職給付に係るものの額 | △5,594 | △5,739 |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - |
| コア資本に係る調整後非支配株主持分の額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 32,353 | 30,836 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 60 | 57 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | 32,293 | 30,779 |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 10,000 | 10,000 |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 13,402 | 13,402 |
| 非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 635,283 | 619,746 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 7,147 | 7,516 |
| うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額 | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 7,147 | 7,516 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | 12 | 8 |
| 適格引当金不足額 | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【福岡銀行連結】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|---------------------------------------|-----------|-----------|
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - |
| 退職給付に係る資産の額 | 2,462 | 2,359 |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | - | - |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - |
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | 64,583 | 66,158 |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | 64,583 | 66,158 |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | 2,860 | 4,770 |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | 2,073 | 3,406 |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | 787 | 1,363 |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 77,066 | 80,811 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 558,216 | 538,934 |
| リスク・アセット等 (3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 5,441,997 | 5,180,927 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | 63,990 | 62,493 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | - |
| うち、上記以外に該当するものの額 | 63,990 | 62,493 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 265,362 | 265,362 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 5,707,359 | 5,446,290 |
| 連結自己資本比率 | | |
| 連結自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 9.78 % | 9.89 % |

- (注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。
 2. 信用リスク・アセットは先進的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【福岡銀行単体】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|--|-----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 550,190 | 537,257 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 142,810 | 142,810 |
| うち、利益剰余金の額 | 407,379 | 412,575 |
| うち、自己株式の額(△) | - | - |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 18,128 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 31,346 | 29,876 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | - | - |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | 31,346 | 29,876 |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 10,000 | 10,000 |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 13,402 | 13,402 |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 604,938 | 590,536 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 6,792 | 7,137 |
| うち、のれんに係るものの額 | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 6,792 | 7,137 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | - | - |
| 適格引当金不足額 | - | - |
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - |
| 前払年金費用の額 | 7,967 | 8,015 |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | - | - |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【福岡銀行単体】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|---------------------------------------|-----------|-----------|
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | 68,226 | 69,608 |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | 68,226 | 69,608 |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 82,986 | 84,760 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 521,952 | 505,775 |
| リスク・アセット等 (3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 5,270,870 | 5,018,381 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | 51,124 | 54,454 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | - |
| うち、上記以外に該当するものの額 | 51,124 | 54,454 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 238,509 | 238,509 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 5,509,380 | 5,256,890 |
| 自己資本比率 | | |
| 自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 9.47 % | 9.62 % |

- (注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。
2. 信用リスク・アセットは先進的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【熊本銀行単体】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|--|-----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 84,092 | 83,120 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 67,694 | 67,694 |
| うち、利益剰余金の額 | 16,398 | 16,815 |
| うち、自己株式の額(△) | - | - |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 1,388 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 11,624 | 11,486 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 11,624 | 11,486 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | - | - |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 437 | 441 |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 96,154 | 95,048 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 913 | 982 |
| うち、のれんに係るものの額 | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 913 | 982 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | 16 | 20 |
| 適格引当金不足額 | - | - |
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - |
| 前払年金費用の額 | 3,575 | 3,575 |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | - | - |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【熊本銀行単体】

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 |
|---------------------------------------|-----------|----------|
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 4,505 | 4,579 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 91,649 | 90,468 |
| リスク・アセット等 (3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 929,960 | 918,919 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | 994 | 1,477 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | - |
| うち、上記以外に該当するものの額 | 994 | 1,477 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 33,101 | 33,101 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 963,062 | 952,021 |
| 自己資本比率 | | |
| 自己資本比率((ハ)÷(ニ)) | 9.51 % | 9.50 % |

- (注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。
 2. 信用リスク・アセットは標準的手法、オペレーショナル・リスク相当額は粗利益配分手法により算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【十八親和銀行連結】

2020年10月1日に親和銀行と十八銀行が合併し、十八親和銀行となりました。

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 | |
|--|-----------|----------|----------|
| | | 親和銀行(単体) | 十八銀行(連結) |
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 225,757 | 98,694 | 126,449 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 122,940 | 73,756 | 49,184 |
| うち、利益剰余金の額 | 102,817 | 26,724 | 79,406 |
| うち、自己株式の額(△) | - | - | - |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 1,786 | 2,141 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - | - |
| コア資本に算入されるその他の包括利益累計額 | △4,298 | - | △2,793 |
| うち、為替換算調整勘定 | - | - | - |
| うち、退職給付に係るものの額 | △4,298 | - | △2,793 |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - | - |
| コア資本に係る調整後非支配株主持分の額 | - | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 25,996 | 8,949 | 15,497 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 25,996 | 8,949 | 15,497 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | - | - | - |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 5,054 | 2,931 | 2,141 |
| 非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 252,510 | 110,574 | 141,295 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 3,636 | 3,421 | 971 |
| うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額 | - | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 3,636 | 3,421 | 971 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | - | - | - |
| 適格引当金不足額 | - | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【十八親和銀行連結】

2020年10月1日に親和銀行と十八銀行が合併し、十八親和銀行となりました。

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 | |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 親和銀行(単体) | 十八銀行(連結) |
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - | - |
| 退職給付に係る資産の額 | - | 2,840 | - |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | - | - | - |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - | - |
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | - | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | - | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - | - |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 3,636 | 6,262 | 971 |
| 自己資本 | | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 248,874 | 104,312 | 140,324 |
| リスク・アセット等 (3) | | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 2,302,672 | 1,056,452 | 1,239,831 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | △7,372 | 7,129 | △26,846 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | - | △0 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | △7,372 | 7,129 | △26,846 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 119,906 | 45,827 | 70,375 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 2,422,579 | 1,102,280 | 1,310,207 |
| 連結自己資本比率 | | | |
| 連結自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 10.27 % | 9.46 % | 10.71 % |

(注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

2. 信用リスク・アセットは標準的手法により算出しております。

3. オペレーショナル・リスク相当額は基礎的手法により算出しております。

なお、2020年9月末は親和銀行は粗利益配分手法、十八銀行は基礎的手法により算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【十八親和銀行単体】

2020年10月1日に親和銀行と十八銀行が合併し、十八親和銀行となりました。

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 | |
|--|-----------|----------|----------|
| | | 親和銀行(単体) | 十八銀行(単体) |
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | | |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額 | 219,407 | 98,694 | 120,305 |
| うち、資本金及び資本剰余金の額 | 118,075 | 73,756 | 44,318 |
| うち、利益剰余金の額 | 101,332 | 26,724 | 78,127 |
| うち、自己株式の額(△) | - | - | - |
| うち、社外流出予定額(△) | - | 1,786 | 2,141 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | - | - | - |
| 普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額 | - | - | - |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 24,564 | 8,949 | 14,673 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 24,564 | 8,949 | 14,673 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | - | - | - |
| 適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | - | - | - |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | 5,058 | 2,931 | 2,145 |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 249,030 | 110,574 | 137,124 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | 3,566 | 3,421 | 898 |
| うち、のれんに係るものの額 | - | - | - |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | 3,566 | 3,421 | 898 |
| 繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額 | - | - | - |
| 適格引当金不足額 | - | - | - |
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | - | - | - |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | - | - | - |
| 前払年金費用の額 | 3,578 | 2,840 | 804 |
| 自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額 | - | - | - |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | - | - | - |
| 少数出資金融機関等の対象普通株式等の額 | - | - | - |

自己資本の構成に関する開示事項(2021年3月期 第3四半期末自己資本比率)

【十八親和銀行単体】

2020年10月1日に親和銀行と十八銀行が合併し、十八親和銀行となりました。

(百万円、%)

| 項目 | 2020年12月末 | 2020年9月末 | |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 親和銀行(単体) | 十八銀行(単体) |
| 特定項目に係る十パーセント基準超過額 | - | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - | - |
| 特定項目に係る十五パーセント基準超過額 | - | - | - |
| うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額 | - | - | - |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額 | - | - | - |
| うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額 | - | - | - |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 7,144 | 6,262 | 1,702 |
| 自己資本 | | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | 241,886 | 104,312 | 135,421 |
| リスク・アセット等 (3) | | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 2,290,068 | 1,056,452 | 1,226,372 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | △7,806 | 7,129 | △27,108 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | - | - | 0 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | △7,806 | 7,129 | △27,108 |
| マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | - | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | 101,458 | 45,827 | 51,960 |
| 信用リスク・アセット調整額 | - | - | - |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | - | - | - |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 2,391,527 | 1,102,280 | 1,278,332 |
| 自己資本比率 | | | |
| 自己資本比率((ハ)/(ニ)) | 10.11 % | 9.46 % | 10.59 % |

(注) 1. 上記は、2014年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

2. 信用リスク・アセットは標準的手法により算出しております。

3. オペレーショナル・リスク相当額は基礎的手法により算出しております。

なお、2020年9月末は親和銀行は粗利益配分手法、十八銀行は基礎的手法により算出しております。